

## スギテツ Profile



ピアノ・編曲：杉浦哲郎 ヴァイオリン：岡田鉄平

2004年結成。桐朋学園大学卒業後、クラシック界で活躍するヴァイオリニスト岡田鉄平と、CM・演劇を中心にエンタメ系音楽を数多くこなすアレンジャーの杉浦哲郎が化学反応。

誰もが知っているクラシックの名曲を、童謡やCMソングから街で聴こえる環境音まで何でもマッシュアップ（=融合）させ、聴くだけでなく観て楽しいコンサート活動を全国各地で展開している。

超絶的かつ独自性溢れる奏法を生み出すヴァイオリンの「腕」と、類まれなる編曲術を編み出す「耳」のタッグは、やがてジャンルを超えたプロフェッショナルとのコラボを生み出し、クラシック界とエンターテインメント界を縦横無尽に行き来する異色のデュオへと発展する。東京フィルとの共演からよしもとの劇場レギュラーまでという振り幅の広いユニークな存在感から、「NHKニューイヤーコンサート」「はなまるマーケット」「メレンゲの気持ち」など、数々のTV番組にも出演。

また、それぞれの趣味、鉄道とクラシックを結びつけた「電クラ（電車＋クラシック）」シリーズでもおなじみで、JR東海「リニア・鉄道館」CM曲に起用され、FM-NACK5の鉄道番組ではナビゲーターも務めている。2012年4月よりデュオの名を「杉ちゃん&鉄平」から「スギテツ（SUGITETSU）」となり、新たなるスタートを切る。



## ピアノ・編曲：杉浦哲郎

名古屋市出身。4歳よりピアノを始める。法政大学社会学部在学中にバンドでデビュー。その後、TV「タモリの音楽は世界だ」ハウスバンドなどで、アレンジャーとしてのキャリアを積む。

現在、CMや演劇などの作編曲等、よろず音楽クリエイターとして、ワハハ本舗や吉本興業などエンタメ系音楽を中心に活動する他、ラジオパーソナリティや音楽誌への執筆、イベントプロデュースなども手がけている。趣味は時刻表を駆使した鉄道の旅と、源泉かけ流し温泉。

## ヴァイオリン：岡田鉄平

福岡県行橋市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。桐朋高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏科卒業後、同大学研究科修了。長江杯国際音楽コンクール第1位ほか、多数のコンクール入賞後、数々の楽団にソリストとして出演する他、ヤマハメソッドのお手本CDなど、レコーディングにおける演奏も数多い。

現在、ソロ、室内楽、アンサンブルやさまざまな分野で活躍中。鉄道模型、TVゲーム、そしてセダン系の車を愛するカーマニア。



## 主なメディア出演

### 【テレビ】

日本テレビ「メレンゲの気持ち」／TBS「はなまるマーケット」／テレビ朝日「ミュージック・ステーション」  
／テレビ東京「たけしの誰でもピカソ」／NHK総合「NHK名古屋ニューイヤーコンサート2012」  
／中京テレビ「芸能界鉄道研究会 鉄研」／NHK-BS「今日是一日、ショパン」「お好み寄席」

### 【ラジオ】

FM NACK5「スギテツのGRAND NACK RAILROAD」(レギュラー)  
／NHK-FM「土曜日レディ」「今日も一日鉄道三昧」／J-WAVE「Classy Cafe」「TOKYO MORNING RADIO」  
／TFM「シンクロシティ」／NHK第一「小堺一機の世の中面白研究所」  
／TBSラジオ「安住紳一郎の日曜天国」「ゆうゆうワイド」

## BIOGRAPHY

偉大なる作曲家ながら、冗談音楽の元祖とも言われるアマデウス・モーツァルト。その意志を勝手に受け継ぐべく、2004年にデュオ結成、「ハトヤのカルメン幻想曲」「犬のおまわりさんの運命」などの冗談クラシック作品を、ライブを通じて発表してゆく。

同年、TV「たけしの誰でもピカソ」出演を機にミニアルバムを、翌2005年には「**剣のずいずいずっころばし**」「**美しき青きドナウ河のさざなみ殺人事件**」などを収録したフルアルバムをリリース。以降、全国ツアーやイベント出演などの演奏活動をコンスタントに重ねる。2007年、それぞれの趣味「鉄道」をテーマにしたアルバム「**電クラ**」（電車+クラシック）をリリース。駅のメロディとバッハを融合した「**山手線上のアリア**」がマニアの間で話題を呼び、TV「**ミュージックステーション**」などでも紹介され、タワーレコードJ-CLASSICALチャート1位、アマゾンクラシックランキング2位を記録。

2008年より、弦楽アンサンブル編成や、「スギテツインテット」と称したバンドスタイルでの活動も並行してスタート。また、芝居や朗読劇への出演など、音楽の枠を飛び越えた活動や、旅館での宴会ライブ、貸切電車の車内コンサートなどのユニークなイベントも頻発。地方公演の数も増え始め、2009年には結成5周年ツアーを全国15ヶ所で開催。

2010年、アルバム「**クラシック侍**」リリース、クラシック音楽を和音階に置き換えた実験的な作品は、後にフィギュアスケート全日本選手権で使用されるなど、冗談音楽では括りきれない意欲作となる。また、デュオ結成当初から**ワハハ本舗**をはじめとするエンタメ界との接点も多かった中、同年より**吉本興業**とも交流が生まれ、品川よしもとプリンスシアターに約1年間レギュラー出演、ピース、ブラックマヨネーズ等今をときめく芸人に交じり、毎回大トリを務め上げ、中川家とのジョイントイベントも企画される。また、TV「はなまるマーケット」「あらびき団」にも出演、「エンターテイメント軸」への傾倒が深まってゆく。

2011年、震災後すぐにチャリティイベントを開催、音楽を通じた継続的な支援活動をスタートさせる。同年夏、アルバム「**電クラ3～線路は続くよどこまでも～**」をリリース、多数の鉄道関連イベントや番組に出演し、全国15ヶ所でツアーも開催。更に、**FM-NACK5**にて鉄道をテーマとした初のレギュラー番組「**スギテツのGRAND NACK RAILROAD**」も始まり、向谷実（カシオペア）氏などとの交流も盛んとなるなど、「鉄道軸」も拡大してゆく。

同年秋にはヴァイオリニスト高嶋ちさ子さん主宰による「**めざましクラシックス**」にゲスト出演。以降、**名古屋フィルハーモニー交響楽団**、**東京フィルハーモニー交響楽団**と立て続けに共演、プロアマ問わず純クラシック界からも徐々にラブコールを受け始め、悲願の「クラシック軸」も確立。

2012年には「**リニア・鉄道館**」CM音楽や「**プリジストンレディスオープン**」テーマ曲に起用されるなど、メディアを通してオリジナル作品を次々に発表、遅ればせながらいわゆる「アーティスト軸」も基軸の一つとなる。また、TBSラジオ「**安住紳一郎の日曜天国**」では「にち天ファミリー」と称され公開生放送に招待されたり、TV「**メレンゲの気持ち**」出演時には、芦田茉奈ちゃんと「**アイネ・クライネ・マルマルモリモリ**」で即興コラボも成し遂げる。

そんな中、同年4月よりデュオの名前を「杉ちゃん&鉄平」から「スギテツ (SUGITETSU)」に改名、それぞれが拠点を東京より地元（名古屋/北九州）に移し、事務所から独立。杉浦が名古屋にマネジメントオフィスを開設し、地方発信の遠距離ユニットという、今の時代ならではの新しいスタイルで活動をリスタートさせる。

現在、CDリリースと全国ツアーを中心に、会館自主公演、学校の芸術鑑賞会、ホテルディナーショー、劇場、野外フェス、豪華客船船内、鉄道関連イベントなどなど、クラシック/エンタメ/鉄道/アーティストという4つの基軸を縦横無尽に駆け巡るデュオとして奮闘中。